

ワークシート①

（コピーして使ってください）

ごみ拾いをしよう

- グループを作って、拾う場所を決めてごみを拾ってみよう。
- みんなが拾ったごみを集めて、どのごみがどのくらいあるかみてみよう。

- ・グループで拾ったごみの種類は？
- ・どのくらい拾った？（ごみ袋何袋分？）

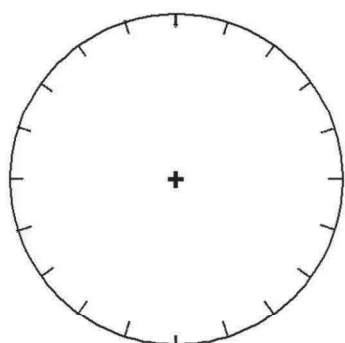
中身が分からない容器など、危険なごみは拾わない、近づかないようにしましょう。
ブルーシートなど地面に敷く物があると、ごみを数える時に便利だよ。



ごみはどこから来ているか？

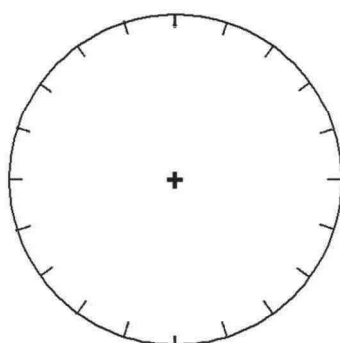
- ごみがどこから来ているかまとめよう。

ごみの種類	どこからきた
例：ペットボトル（35 個）	中国：5 個 日本：15 個 不明：15 個
1：（ 個）	
2：（ 個）	
3：（ 個）	
4：（ 個）	
5：（ 個）	
6：（ 個）	
7：（ 個）	
8：（ 個）	
国別の合計数（ 個）	



ごみの種類

_____	%
_____	%
_____	%
_____	%
_____	%
_____	%
_____	%
_____	%



どこから来ている？

_____	%
_____	%
_____	%
_____	%
_____	%
_____	%
_____	%
_____	%

ワークシート②

（コピーして使って下さい）

海の流について見てみよう



日本近海の海の流は、南から流れる黒潮、対馬暖流、北から流れるリマン海流、親潮がある。

沖縄県の西側を流れる黒潮は、やがて親潮とぶつかり、北太平洋海流となって北アメリカ大陸へと到達する。

海流の位置は、時期によって移動する。現在の海流の情報は、海上保安庁のホームページより確認できる。



ごみ

ごみがどこから来ているか見分けるヒント

①商品の包装に書いている文字、マークを見よう

例：「中国語、ハングル、ロシア語、日本語など」、「MADE IN CHINA」

②ペットボトルの色を確認

日本製のペットボトルは無色透明、色つきのペットボトルは外国産。

③バーコードの最初の3桁の数字を見てみよう

バーコードの最初の3桁の数字は「商品のブランドを持つ事業者の国」を示したもの。



（2018年3月現在）

番号	国名	番号	国名	番号	国名
000-019	米国	460-469	ロシア	750	メキシコ
030-039		471	台湾	754-755	カナダ
050-139		480	フィリピン	867	北朝鮮
450-459	日本	489	香港	880	韓国
490-499		690-699	中国	899	インドネシア

※そのほかの番号と国名については、「はじめてのバーコードガイド」参照。



ワークシート③

（コピーして使ってください）

振り返り

海岸に落ちているごみは、どこから来ていた？

ごみを拾う前と後の海岸の見た目は？ごみが海に流れると、海の生きものにどんな影響がある？

海岸に落ちているごみを減らすために、私たちにできることは？

やってみよう

- 海岸に落ちているごみの影響は、他にどんなものがあるか考えてみよう。
- 「ミッドウェイ諸島やハワイ諸島の海のプラスチック汚染」「世界で進むプラスチック製品の規制」をテーマにして、調べてみよう。

もっと知りたい



**沖縄県
普及啓発教材（HP）**
沖縄県内の海岸漂着物等の発生抑制に係る普及啓発教材があります。



**沖縄県
海岸漂着物対策（HP）**
沖縄県が実施している海岸漂着物地域対策推進事業について調べることができます。



**（財）流通システム開発
センター（HP）**
はじめてのバーコードガイド GS1
事業者コード・JAN コードをわかりやすく解説しています。

海岸にあるプラスチックごみの例として、
マイクロプラスチックを扱っているプログラムもあるよ。

